

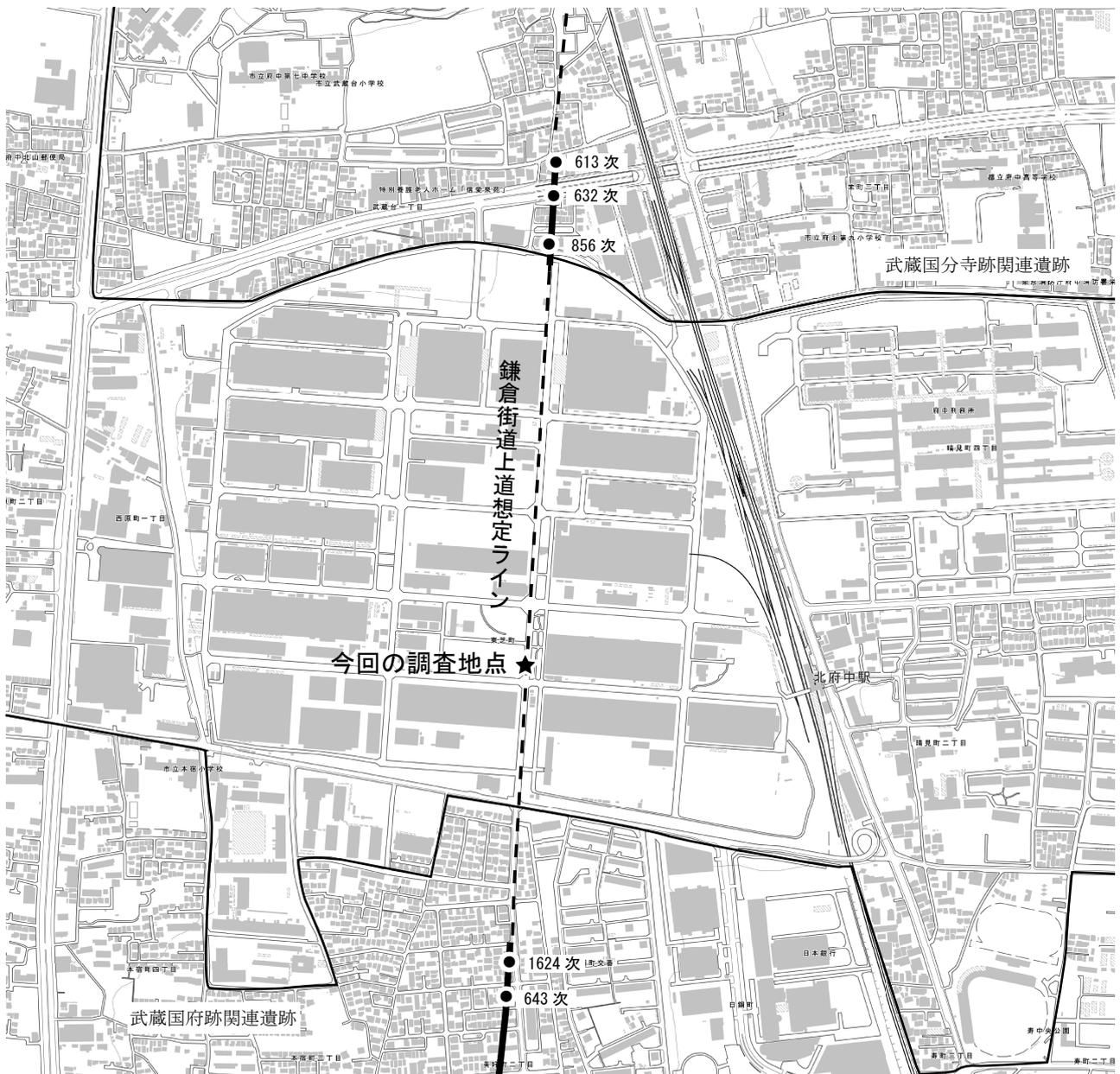
18. 1874. T 次調査報告

| | |
|---------|------------------------|
| 遺 跡 名 | 包蔵地外 |
| グ リ ッ ド | E71-1 次 |
| 所 在 地 | 東京都府中市東芝町 1 |
| 現地調査期間 | 令和 2 年12月23日 |
| 面 積 | 27㎡ |
| 調査担当者 | 野田憲一郎 |
| 調査従事者 | 伊藤和人・伊藤朱・磯部ゆい((合)Talo) |

1 調査に至る経緯

令和 2 年 11 月に、中高層建築の事前協議にて株式会社東芝府中事業所内において、新規建物建築計画があることを確認した。新築建物範囲は、中世の鎌倉街道上道が縦断する想定ライン上に位置していた。

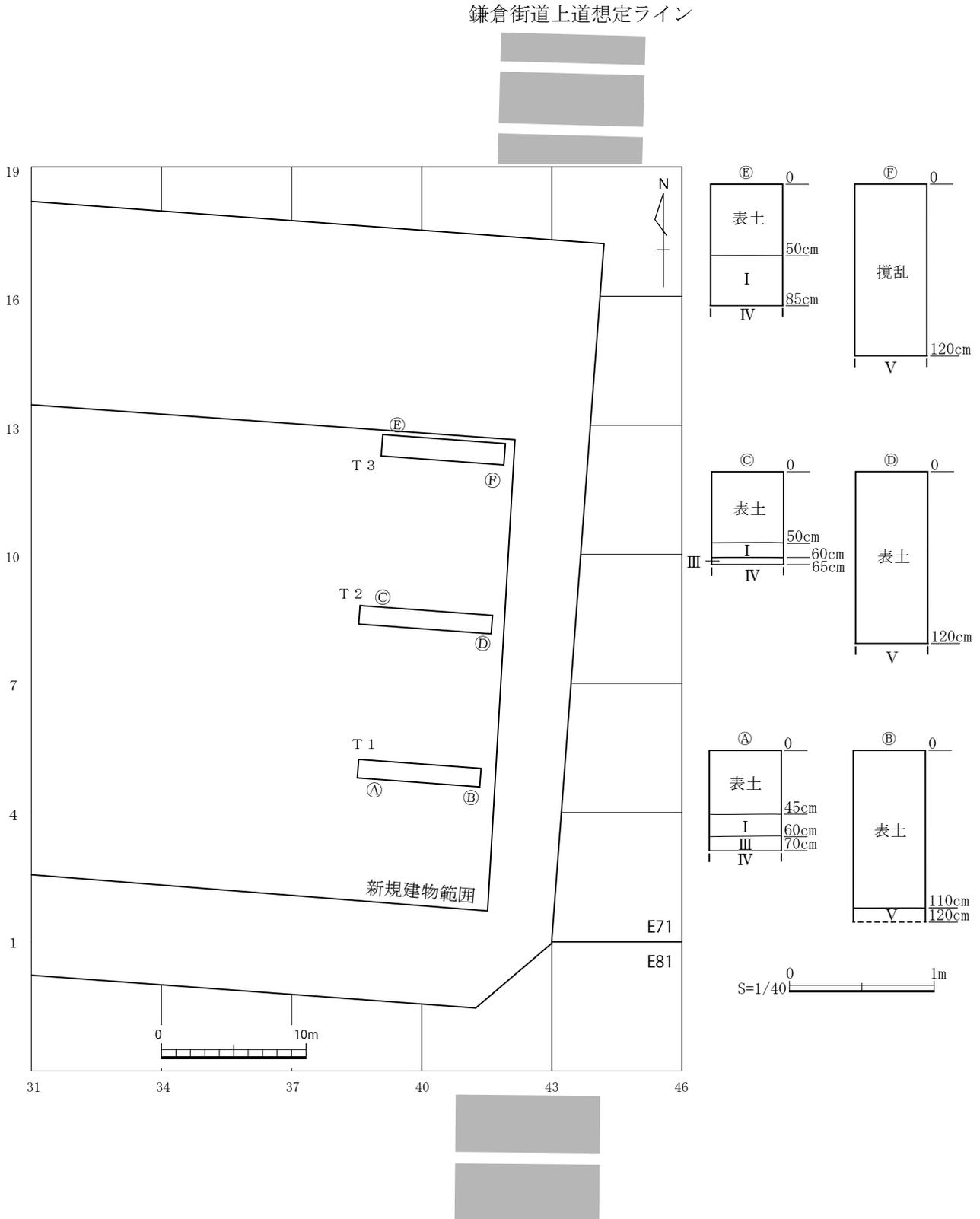
そのため、府中市教育委員会は、令和 2 年 12 月に株式会社東芝府中事業所総務部に、中世鎌倉街道を確認するための調査協力を依頼し、同意が得られたことから、令和 2 年 12 月 23 日に現地での調査を実施した。



第 1874. T-1 図 調査地区位置図 (1/10,000)

2. 調査結果

建築範囲を対象として、鎌倉街道上道の想定ライン上に、3本のトレンチを設定し、確認した。トレンチ東は表土直下で府中V層（ソフトローム）、トレンチ西では府中I層（灰褐色土）、III層（黒褐色土）、IV層（ローム漸移層）を確認したが、古代から中世の遺物包含層である府中II層は当調査範囲では見られなかった。また、いずれも遺構や硬化面をはじめとする痕跡を確認することはできなかった。



第 1874. T-2 図 トレンチ配置図・柱状模式図

3 まとめ

地権者の協力を得て、新規建物建築範囲において、鎌倉街道の存否確認調査を行った。いずれのトレンチにおいても遺構確認面の府中Ⅲ層上面で道路の痕跡を確認することはできなかったが、新規建物のさらに東側に位置する可能性も残された。引き続き、推定ライン上で確認調査を実施し、位置の確定を図ることとしたい。



第 1874. T-3 図 トレンチ 1 全景 (西)



第 1874. T-4 図 トレンチ 1 土層堆積状況 (東)



第 1874. T-5 図 トレンチ 2 全景 (東)



第 1874. T-6 図 トレンチ 3 全景 (東)



第 1874. T-7 図 トレンチ 3 東側南壁断面 (北)



第 1874. T-8 図 作業風景